

新春

地域活動協議会

十七景



2017年、新春の特集！東淀川区全17地域の「地域活動協議会」をご紹介します！！「こんな自慢があるよ、こんなことに力をいれています」といった地域の特色を会長さんを中心に語っていただきました～♪

15 淡路

歴史をつつみこむ大樹のパワーが、地域を見守る。



森川会長

「昔は映画館が4軒あったし、銭湯も多いまちでした」と森川会長は語ります。昭和40年までお味噌を取り扱う辰巳屋の工場があったとか。須賀神社は中島惣社に合祀、跡地には大きな樟(くすのき)が残され「須賀の森」に。地域を見守るパワースポットです。また、戦争遺跡の高射砲台や中島大水道跡など歴史の見所の多い地域ですね。

16 西淡路

地域と学校一体で、子どもたちの「育ち」を応援する。



規則正しい生活習慣は「育ち」の基本。西淡路地域の教育活動標語は「早寝早起き、朝ごはん、頭すっきり遅刻ゼロ」だそうです。学力・体力向上のためには朝食は欠かせないといわれています。地域と学校が力を合わせて、子どもの健康維持に尽力。食の大切さは強調しても、し過ぎることはないですね。

17 啓発

歴史も地域も女性の元気が、源泉となる。



中島惣社には大きなお神輿が3つあるのだとか。かつては宮司さんや町会長が白馬に乗ってパレードするなど盛大な催し、お祭りでにぎわったそうです。近くには崇禅寺があり、あの辞世の句で有名な細川ガラシャが弔われています。関係があるのかなのか、啓発地域の女性はみんな元気！

14 東淡路・柴島

各団体の連携と情報の共有が、元気を育てる。



東淡路・柴島地域では、もちつき大会などの行事は、地協やはぐみネット、学校体育施設開放などと連携し実施しています。「いきいき百歳ガイドブック」「わたしたちのまちで相談できるところ」といったガイドブックで情報共有を活発にしています。

13 菅原

菅原天満宮をはじめ多くの歴史遺産の伝統と、企業の力が地域を活性化する。



菅原地域は、10町会がそれぞれ独自の能力を発揮し、活動が盛んです。また、参天製菓(株)をはじめ、飯田織工(株)など「企業の地域に対する貢献が大きい」と白井会長。行友家の橋、一柳家の土塀と道標など歴史遺産が多く存在するのも菅原の特徴です。

12 下新庄

昔ながらの行事を大切にする伝統が、コミュニティのつながりを強くする。



生島会長

下新庄地域では、地蔵盆、荒神さんなど祭礼、信仰にもとづいた行事が盛んです。そんな歴史を大切に継承しながらも「地域の諸先輩方の協力を得て、若い世代を巻き込むようにしている」と生島会長。古き良き伝統と新しいチカラの相乗効果で、コミュニティの魅力を掘り起こしているんですね。

9 豊新

自主防災組織が住民の自覚をうながし、まちの安心・安全を守る。



地域の災害救助部長をつとめた吉本氏が、「住民が災害に対する危機意識を共有し、自分の役割を自覚し活動すること」をモットーに自主防災組織の立ち上げに尽力。30～40歳代の世代も参加。災害に際し誰がどう動くかを具体的にイメージした訓練にも力を入れているそうです。

10 小松

人口増加の予想とともに「わくわく」がひろがる。



小松小学校では、土曜授業の一環として計21もの「小松わくわく教室」を開催しています。スポーツやものづくりなど、学校、地域、企業の人たちが先生役を担っています。複数のマンション建設の予定があり、子どもたちの声がますます元気に響きそうですね。

11 新庄

「土俵」は藤棚に、ベンチはかまどに、鯨骨が橋に、変化を生み続ける。



以前、春日神社には「土俵」がありました。大相撲大阪場所の季節、このあたりをお相撲さんが闊歩していたとか。かつての土俵は、きれいな藤棚に、他にも鯨橋で有名な瑞光寺などの名跡がある新庄。災害時に、かまどとして活用できる「かまどベンチ」も設置。また、信覚寺の音楽イベント「お寺で夕涼み」では、クラシックなどが楽しめるそうです。

8 豊里南

「平田の渡し」のように、情報が的確に地域に届くシステムを継続する。



山田会長

地域内で情報共有する重要性を感じていた山田会長が、情報がもれなく、だぶりなく伝わるシステムを構築。「平田の渡し」のように情報を正確に安全に運ぶ船頭さんのようですね。そして、あたらしい担い手も着実に育ちはじめています。※「平田の渡し」とは、延宝4年(1676年)頃に発足した淀川兩岸を結ぶ個人経営の渡し船。後に公営に。

1 東井高野

危機意識が「若い力」に灯を点し、まちが動き出す。



かつて小学校で一学年のクラスが激減した時代があった東井高野地域。いま現在も少子化が深刻です。それに対する危機感がPTAを中心とした若い担い手の原動力になっているそうです。今後、「若手」が地域を牽引してくれることに期待大ですね！

2 いたかの

スポーツが育てた団結力が地域にいきづく。



藤谷会長

「地域を支えていくにはどうすればいいか」を自問自答するなかで、地域に男女ソフトボール部を設立した藤谷会長。お正月にはぜんざい大会、新年会など積極的にコミュニケーションの場を。もちろん、体育祭やお祭り、盆踊りなども活発です。

3 大隅東

あたらしい担い手を育てる強い意識が「しくみ」をつくる。



末満会長

「大隅東は、昔から各種団体同士のつながりが強く、まとまりのある地域」と末満会長。次世代の担い手を育てるためには、同じ人が継続して役につかないシステムにし、担い手がかたよらないよう工夫しているとのこと。何事も意識的に取り組むことが大事、ということですね。

6 大道南

恒例の凧揚げ大会で、淀川河川敷を味わいつくす。



大道南地域の資産、それは淀川河川敷。一面芝生の公園を、子どもたちが走り回っています。子ども会、PTAが中心の「河川敷凧揚げ大会」は、長年続く恒例行事。自然の少ない都会にあっても、思いっきりのびのびと遊べる私たちのオアシスですね。

5 大相

由緒ある旧所・名跡のまちに、新しい世代のエネルギーが集う。



だいきやん

大隅神社、逆巻き地蔵など、歴史ある名跡の残る大相地域。近年、マンション建築にともない子どもも増え、新しい世代が育ちつつあります。大阪経済大学も積極的に地域活動に参加してくれているのも頼もしく、将来が楽しみです。

4 大隅西

「ふれあいのつどい」食と笑顔で会話も弾む。



松山会長

毎年6月と12月、年2回福祉会館で開催される「ふれあいのつどい」。手品、カラオケ、フラダンス、民謡などのパフォーマンス、中庭でふるまわれるパーベキューの焼肉に舌鼓！老若男女が参加し、わいわいやがやとそれぞれの交流を楽しんでいるそうです。

★地域活動協議会とは？…各小学校区で組織されている、まちの活性化や課題解決に向けて話し合い、行動する、誰もが参加できる団体です。詳しくは地域協働 1階9番(☎4809-9825)あるいは区役所ホームページまで！

東淀川区 地活協 検索